

盆栽ビジネスコンテスト～伝統と革新でその先へ～

募集要項

1 本ビジネスコンテストの目的

本ビジネスコンテストは、世界に誇る「大宮盆栽」の文化を100年後の未来へと継承するため、次世代に向けた新たな価値創出を目指すビジネスプランを広く募集します。

「大宮盆栽」の伝統を守りながらも、社会情勢の変化に即した革新的なビジネスプランを歓迎します。

大宮盆栽村の概要などは、別紙をご覧ください。

2 募集テーマ

「盆栽ビジネスコンテスト～伝統と革新でその先へ～」

本テーマは、盆栽という日本の伝統文化を未来へとつなげるため、応募者のビジネスプランが、盆栽業界に新風を吹き込むことを期待し、伝統と革新の融合を促進するメッセージを込めています。

「伝統」：盆栽の美と技術、歴史的価値を尊重

「革新」：新しいビジネスモデル、テクノロジー、グローバル展開などへの挑戦

「その先へ」：盆栽文化の持続可能な発展と地域経済への貢献を目指す

3 対象とするビジネスプラン

以下の全ての要件を満たすものとします。

- (1) 盆栽に関するビジネスプランであること。
- (2) 第三者の著作権並びにその他知的財産権を侵害していないこと。
- (3) 公序良俗に反しないものであること。

4 賞金

- (1) 最優秀賞：賞金100万円
- (2) 優秀賞：賞金50万円
- (3) 特別賞：賞金30万円

5 応募資格

電子メール及びインターネットの使用並びにエクセル、ワード、パワーポイント、PDFで申請書類の作成が可能であることを前提として、以下の全ての要件を満たす者とします。

- (1) 日本国内に主たる事業所又は活動拠点を有する法人、団体（任意団体の場合は代表者を明記すること。）、又は日本国内に在住する個人であること。
- (2) 本ビジネスコンテストに関する応募書類の提出、プレゼンテーション等において、日本語での対応が可能であること。

- (3) 本ビジネスコンテストの最終審査（プレゼン審査であり、2025年12月22日（月）に実施予定）の当日に、会場（さいたま市内）にてプレゼンテーションを行うことが可能であること。
- (4) 以下の（ア）から（ウ）のいずれかに該当しないこと。
- （ア）さいたま市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団
- （イ）さいたま市暴力団排除条例（平成24年さいたま市条例第86号）第2条第2号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）
- （ウ）役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準じる者をいう。）のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- （一部改正〔平成22年告示438号・25年445号・30年447号〕）

6 審査基準

ビジネスプランは、持続可能性、実現可能性、革新性、盆栽産業への貢献、地域への波及効果の審査基準に基づき、下表の視点で総合的に審査します。

審査基準	審査の主な視点
持続可能性	継続的に事業が成長していくことが見込まれるか。
実現可能性	具体的で、実行可能な内容であるか。
革新性	新たな視点、技術及びアイデア等が盛り込まれているか。
盆栽産業への貢献	盆栽産業の振興に寄与するか。
地域への波及効果	さいたま市内の経済活動に対する貢献や周辺への波及効果が見込まれるか。

※各項目の配点は同一とし、総合得点により選考を行います。

7 実施スケジュール

以下のスケジュールにより実施します。

一次審査結果通知、最終審査等の日程等詳細は、対象者宛てお知らせします。

期間/時期	内容
2025年7月28日（月）～ 同年9月30日（火） 17時00分（必着）	募集期間
10月上旬～中旬	一次審査（書面審査）
10月下旬	一次審査結果通知
11月上旬～中旬	一次審査通過者へのブラッシュアップ支援（※1）
12月22日（月）	最終審査（プレゼン審査）兼表彰式（※2）

※1：一次審査通過者を対象に、最終審査に向けて、専門家によるビジネスプランへのアドバイス等を実施予定です。

※2：最終審査は、さいたま市内で開催し、一次審査通過者1人当たり説明10分間、質疑

10 分間の合計 20 分間を予定しています。

8 応募方法

以下によりご応募ください。

- (1) 以下の募集用ホームページ内に掲載する応募様式（エクセルファイル）を使用し、電子メールへの添付により、応募してください。

【募集用ホームページ】

<https://www.pwc.com/jp/ja/press-room/2025/bonsai-business-contest.html>

【応募書類提出先】

jp_bonsai_business_contest@pwc.com

- (2) 応募様式で表現しきれない内容などがある場合は、別途企画書を提出できます。別途企画書は、以下4つの条件を満たした任意フォーマットとし、ファイル名は【BBC_応募者名.pdf】となるよう御留意ください。

- ・A4 サイズ（縦・横どちらでも可）
- ・PDF 形式
- ・ファイルサイズ 5MB 以内
- ・ページ数は 10 ページ以内

- (3) 応募期限

2025 年 9 月 30 日（火）17 時 00 分

※必着となります。事務局の受信時間を基準とします。

※応募期限は厳守となるため、提出前に不備等の内容を確認するとともに、余裕をもって応募いただくようお願いします。

9 応募に関する留意事項

- (1) 応募に際して手数料等はかかりません。
- (2) 本ビジネスコンテストへの参加に要する経費は各自でご負担ください。
- (3) 提出いただいた応募書類の変更、差替え、再提出、追加提出は、9月30日（火）以降は一切できません。
- (4) 申込の際にいただいた個人情報は当コンテストの連絡、審査のために利用します。
- (5) 応募内容に不備がある場合や、応募に際し虚偽の情報を記載し、その他事務局に対して虚偽の申告を行った場合は、審査対象外とします。また、受賞後に虚偽の内容等が発覚した場合は、受賞を取り消す場合があります。
- (6) 事務局から応募者に対して、応募内容の確認のため連絡をさせていただく場合があります。
- (7) スケジュール等に大きな変更があった場合は、応募された方に e-mail 又は電話にて、ご連絡いたします。
- (8) 最終審査（プレゼン審査）兼表彰式の様子は、記録用として撮影させていただきます。撮影した映像や写真、受賞内容は、後日、さいたま市及び本ビジネスコンテス

ト運営受託事業者のホームページのほか、市広報など各種広報媒体で公表いたしますので、予めご了承ください。また、報道関係者等からの取材に御協力をお願ひする場合があります。

- (9) さいたま市、運営事務局及び審査員のいずれも、受賞プランの事業化を保証するものではありません。
- (10) 審査結果の内容や落選理由など、選考過程に関する個別のご質問はご回答いたしかねますので、予めご了承ください。
- (11) 応募プランに係る一切の権利は、応募者に帰属します。応募者は、本ビジネスコンテストに応募するにあたって、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権及び営業秘密並びにノウハウ等の法的保護を受けられる情報について、あらかじめ自らの費用と責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えのない内容により応募してください。さいたま市、審査関係者、及び運営事務局は、これらの法的権利や法的保護措置等については、一切の責任を負担いたしません。
- (12) ビジネスプランは、「1」に記載する目的に鑑み、本ビジネスコンテストにおける受賞後に、さいたま市及び大宮盆栽村の関係者等と連携しながらビジネス化することを想定して、応募してください。

10 問い合わせ先

盆栽ビジネスコンテスト事務局 (PwC コンサルティング合同会社内)

メール : jp_bonsai_business_contest@pwc.com

電話 : 070-1182-6063

祝日及び年末年始を除く平日 9:00-17:00

※ご質問がある場合は、隨時、上記メールアドレス宛て御連絡ください。

※お問合せの内容により、数日お時間をいただく場合がございますが、ご了承ください。

大宮盆栽村の概要

(1) 大宮盆栽村（さいたま市北区盆栽町）

かつて、東京には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしていた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災（1923年）で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅状態の東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めて、現在の地に移り住みました。1925年には盆栽業者の自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の1935年頃には約30の盆栽園があり、現在大宮盆栽村には6つの盆栽園が立地しています。大宮盆栽村は、いまも名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れており、本年2025年は、大宮盆栽村開村100周年にあたります。

(2) 土地利用について

盆栽町エリアは、さいたま市の都市計画で第一種低層住居専用地域であり、風致地区（※）に指定されています。

※風致地区

都市計画法に定める地域地区の一つで、都市における良好な自然的景観を保全し、緑豊かなまちづくりを目的としています。風致地区内で造成や建築などを行うときには、「さいたま市風致地区内における建築等の規制に関する条例」（平成14年さいたま市条例第111号）に基づく行為の許可が必要となります。

(3) その他

大宮盆栽村の近くには、世界で初めての公立の「盆栽美術館」である大宮盆栽美術館があります。

詳しくは以下のURLをご覧ください。

URL : <https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/>

大宮盆栽振興ビジョン・ミッション

さいたま市では大宮盆栽の振興のためのビジョンと4つのミッションを掲げています。

【ビジョン】

先人の志と技術を継承し、世界の人々を魅了する大宮盆栽の新時代を築こう

【ミッション】

1. 盆栽アカデミー（※）の機能・運用強化
2. 銘木を将来に残す仕組みづくり
3. 盆栽村のイノベーション
4. 若手の稼ぐ力の創出

※世界に広がる BONSAI 文化の中心地・大宮盆栽村を舞台として、国内外における盆栽文化の普及を目的にさいたま市大宮盆栽美術館が主催する、盆栽専門の学習プログラムです。